

第50回BCS賞

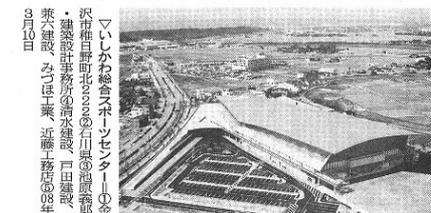
本賞17、特別賞2作品  
表彰式 11月19日

第50回BCS賞の選考委員は次の通り(敬称略、五十音順)。  
声原太郎(声原太郎建築事務所)、阿部利裕(戸田建設)、石井誠(石本建築事務所)、可兒才介(大成建設)、堀内成男(早稲田大学)、岸和郎(京都工芸繊維大学)、北森幸(竹中工務店)、小林照雄(大林組)、佐野吉彦(安井建築設計事務所)、楠繁(楠設計室)、深尾精一(首都大学東京)、堀越英嗣(芝浦工業大学)。

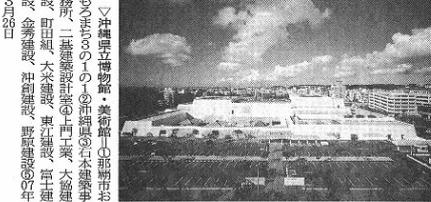


建築業協会(BCS)・山内隆司会長が22日、「第50回BCS賞」の受賞作品を発表した。本賞は往年の歴史の中から、本賞17件と特別賞2件の受賞作品が選ばれた。これら50回のBCS賞受賞作品は801件となる。表彰式は11月19日、東京・日比谷の常盤ホテルで開催する予定。

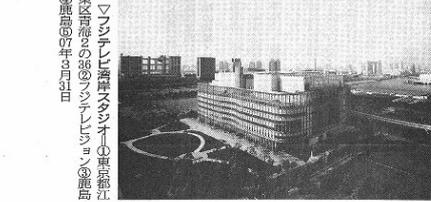
11月19日 常盤ホテル(東京都港区六本木)にて「第50回BCS賞」の表彰式が行われる。本賞17件と特別賞2件の受賞作品が発表される。表彰式は11月19日、東京・日比谷の常盤ホテルで開催する予定。



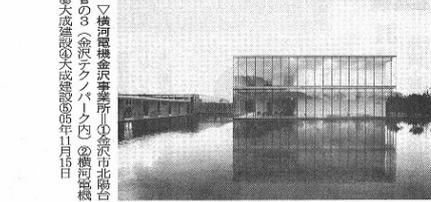
▽いわねビルディングの設計事務所①の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



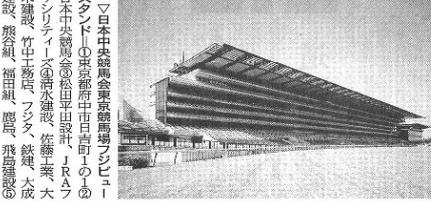
▽沖繩立野動物園、美術館の都市計画。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



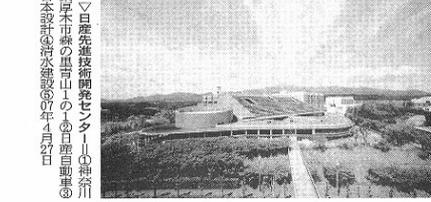
▽インテリビリティの設計事務所②の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



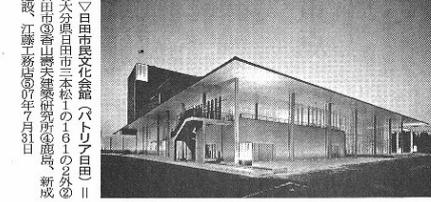
▽横浜環境建築事務所③の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



▽日本中央馬会京競馬場シブレイ。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



▽日産先進技術開発センター④の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



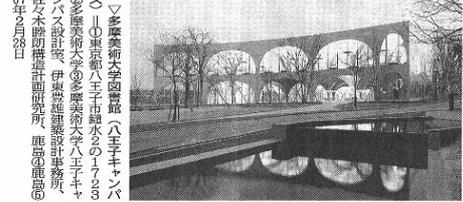
▽日田市長文化会館(パトリオ)。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



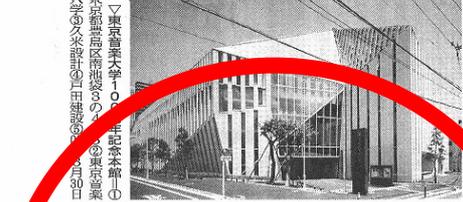
▽大分運輸センター⑤の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



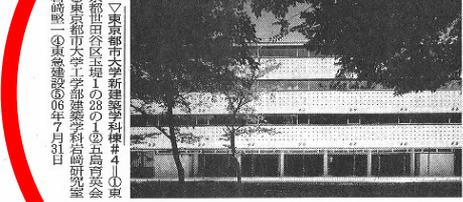
▽佐川急便藤原左門館⑥の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



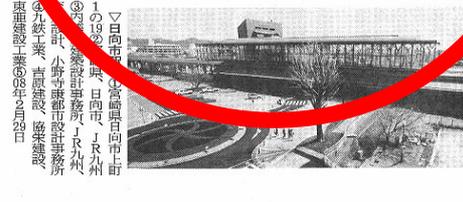
▽多摩美術大学図書館(ハチキンバ)⑦の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



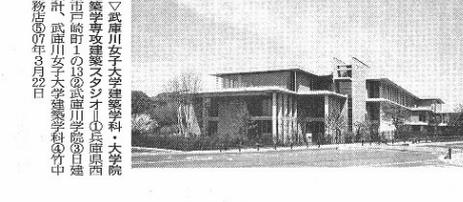
▽東京工業大学100周年記念館⑧の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



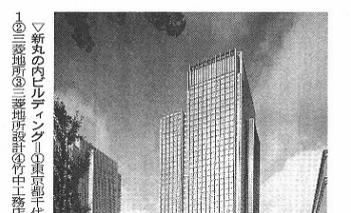
▽東海都市大学新築第4号館⑨の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



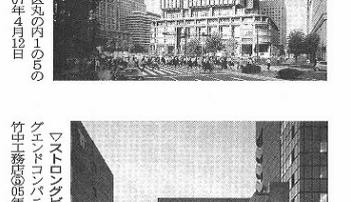
▽日向市立総合体育館⑩の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



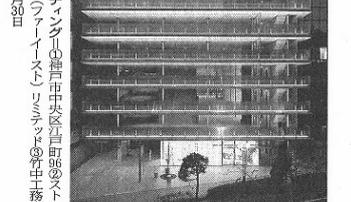
▽武蔵川女子大学新築第1号館⑪の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



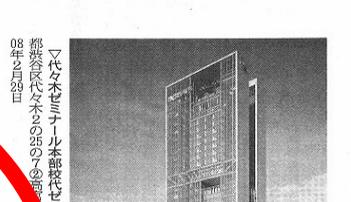
▽新丸の内ビルディング⑫の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



▽マスコビルディング⑬の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



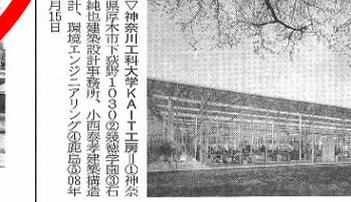
▽代木セテビル本館代々木⑭の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



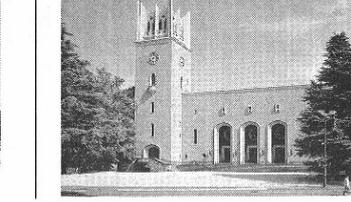
▽特別賞 神奈川工科大学 KAIT 工務部の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



▽特別賞 早稲田大学大講堂⑮の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



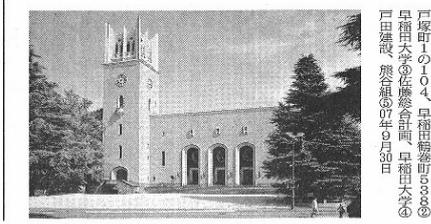
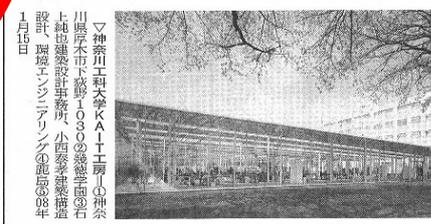
▽特別賞 早稲田大学大講堂⑯の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。



▽特別賞 早稲田大学大講堂⑯の受賞作品。建築設計事務所(声原太郎建築事務所)。

受賞作品(本賞、特別賞)の詳細は次の通り。▽本賞  
17の所在の建築士(設計事務所)の氏名(50年)は、

特別賞



BCSS賞 50年で801作品に

# 建築技術や文化発展に寄与

## 第50回受賞の19作品決定

建築協

建築業協会（山内隆司会長）が協会設立当初から毎年行ってきた「BCS賞（建築業協会賞）」

が今年で50回目を迎え、受賞作品の累計が50年で800作品を超えることとなった。同協会は22日、「第50回BCS賞」の受賞作品に19件を決定したことを公表。これで受賞作品は累計801作品となった。

同賞を通じて建築技術の進歩向上、わが国文化の進展と地球環境の保全に寄与しており、50年にわたるBCS賞の開催意義は大きい。

第50回BCS賞の応募は、09年1月6日から1月30日までの1か月にわたり実施。全国各地から72作品の応募があった中から、選考委員会が審査した結果、今回は特別賞2作品を含む19作品を同賞に決定している。

19作品のうち、アーチ構造体を主体に、ガラスとコンクリートの壁面を一体化して斬新な建築物としたのが「多摩美術大学図書館（八王子キャンパス）」。大学正門から続く緩やかなスロープをそのまま建物内に引き込み、キャンパス周辺の自然環境を積極的に取り込んだ空間を創り出した点が評価された。

特別賞には、綿密な構造検討で細かい柱をランダムに配置し大空間の概念を変える革新的空間を実現した「神奈川県工科大学KAIT（カイト）工房」、重要文化財・大学の象徴の意味を踏まえ耐震性向上とオリジナルな状況回復・機能改善をバランスよく達成した「早稲田大学大隈講堂」の2作品を選定した。

「東京都市大学新建築学科棟#4」では、解体した旧図書館を一部再利用し、建築学科機能を新たに加え、新旧一体化した新たな教育空間を提供している点を評価。「横川電機株式会社金沢事務所」は、最先端技術のR&Dと生産施設として迅速な計画・建設が求められる中、建築主としっかり連携し、緑豊かな自然の中に水面と一体の美しい建築を創り上げた点が評価された。

いずれもデザインや機能性に優れ、周辺環境や街並みへの配慮、地域との融合、新しい試みへの挑戦などを評価。美術館、学校施設、研究施設、複

合施設などの多彩な用途の作品を選んでいる。選考委員は、菅原太郎（菅原太郎建築事務所）、阿部利裕（戸田建設）、石井誠（石本建築事務所）、可児才介（大成建設）、嘉納成男（早稲田大学）、岸和郎（京都工芸繊維大学）、北泰幸（竹中工務店）、小林照雄（大林組）、佐野吉彦（安井建築設計事務所）、播繁（播設計室）、深尾精一（首都大学東京）、堀越英嗣（芝浦工業大学）――の12氏。

受賞作品は、和・英文併記の「第50回建築業協会賞作品集」として編さん。国内だけでなく国連加盟各国にも配布し、わが国の代表的建築作品として広く紹介する。表彰式は11月19日、東京・千代田区の帝国ホテルで行う予定。



